

(1) 懇談会等を踏まえた施策内容の修正について

【基本目標 4】

基本目標 4

● 施策4-2 「地域力を活かした防災対策の推進」

意見	対応
<p>基本構想のまちの姿では強靱な都市基盤の整備というハード面と、それから地域の連携というソフト面も記載されている。しかし、施策4-2のめざす姿において、日頃の見守りや、何か起こったときのご近所の助け合い、精神的なケアというところも含めて発災時には非常に大事になってくるが、そのような記述がない。</p> <p>めざす姿には、「区民一人一人が自らの命は自らが守るという意識」と記載があり、これは本当に大切だが、自分のことだけではなく、そういう人達が横に繋がっていくことが分かる具体的な表現が全然ない。「地域力が高まり」という表現が意味しているとは思いますが、ソフトの強いまちをつくるための記述というのをもう少し工夫してほしい。</p>	<p><u>「めざす姿①」に「隣近所の協力や助け合いによって地域力が高まり～」と追記</u></p>

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

基本目標 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

まちの姿 強靱な都市基盤の整備と地域の連携の強化により、心から安心できるまちになっています。

4 めざす姿

めざす姿①

大規模災害発生時、消防・警察・自衛隊・医療関係機関等の連携により、要救助者が救助され、病院・緊急医療救護所等で傷病の程度に応じた医療が提供されるとともに、区民一人ひとりが「自らの命は自らが守る」という意識のもと、地域力が高まり、要配慮者を支援できる社会が実現しています。

対応する課題

課題①②

めざす姿②

大規模災害発生時にも、全区民が安心して生活を継続できるよう、避難の形態に関わらず、必要とする方に支援物資が行き渡る強靱な物流体制や、生活環境の保全と公衆衛生を確保できる災害廃棄物処理体制が構築され、1日も早い生活再建と安定の事前対策が整っています。

対応する課題

課題③④

5-1 指標名

指標①（めざす姿①に対応）

総合防災訓練と地域の自主防災訓練との訓練成果の共有率

指標②（めざす姿①に対応）

災害から身を守るために取り組みをしている区民の割合

指標③（めざす姿②に対応）

災害ケースマネジメントを担う関係機関との協議数

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

基本目標 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

まちの姿 強靱な都市基盤の整備と地域の連携の強化により、心から安心できるまちになっています。

4 めざす姿

めざす姿①

大規模災害発生時、消防・警察・自衛隊・医療関係機関等の連携により、要救助者が救助され、病院・緊急医療救護所等で傷病の程度に応じた医療が提供されるとともに、区民一人ひとりが「自らの命は自らが守る」という意識のもと、**隣近所の協力や助け合いによって地域力が高まり**、要配慮者を支援できる社会が実現しています。

対応する課題

課題①②

めざす姿②

大規模災害発生時にも、全区民が安心して生活を継続できるよう、避難の形態に関わらず、必要とする方に支援物資が行き渡る強靱な物流体制や、生活環境の保全と公衆衛生を確保できる災害廃棄物処理体制が構築され、1日も早い生活再建と安定の事前対策が整っています。

対応する課題

課題③④

5-1 指標名

指標①（めざす姿①に対応）

総合防災訓練と地域の自主防災訓練との訓練成果の共有率

指標②（めざす姿①に対応）

災害から身を守るために取り組みをしている区民の割合

指標③（めざす姿②に対応）

災害ケースマネジメントを担う関係機関との協議数

基本目標 4

● 施策4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

意見	対応
<p>施策4-5もしくは4-6において、「おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」の考え方を取り入れる検討をしてほしい。こちらは元々区民の草の根の活動がベースにあり、平成23年から福祉管理課が行っている事業。地域力を活かした大田区らしい良い取組なので、取り入れることで他の基本目標と横断しやすくなると思う。</p>	<p><u>施策の方向性①に「ユニバーサルデザインのまちづくりの視点を踏まえ、」と追記</u></p>

6 施策の方向性

①生活道路・狭あい道路等の整備



日常生活に密着した道路の整備や維持管理、狭あい道路の拡幅等を推進することで、区民の歩行のみならず、日常の車が利用しやすく、緊急車両の通行も確保された環境を整備します。

②新技術等を活用した予防保全型の橋梁の維持管理



区で管理している橋梁に対して新技術やデジタル技術を活用した点検や管理を段階的に導入します。また、橋の構造や環境条件、定期点検結果等を踏まえて、予防保全の手法を選定することで、橋梁の健全性の維持向上を図ります。

③安心で快適な住環境の確保



住宅の長寿命化や分譲マンションの維持管理の支援を進め、長期に渡り使い続けられる住まいの「質」の確保を推進します。また、民間賃貸住宅への入居が制限されがちな住宅確保要配慮者に寄り添い、民間賃貸住宅への入居が円滑にできるよう、住宅確保に向けた支援を推進します。

6 施策の方向性

①生活道路等の整備



ユニバーサルデザインのまちづくりの視点を踏まえ、日常生活に密着した道路の整備や維持管理、狭あい道路の拡幅等を推進することで、区民の歩行のみならず、日常の車が利用しやすく、緊急車両の通行も確保された環境を整備します。

②新技術等を活用した予防保全型の橋梁の維持管理



区で管理している橋梁に対して新技術やデジタル技術を活用した点検や管理を段階的に導入します。また、橋の構造や環境条件、定期点検結果等を踏まえて、予防保全の手法を選定することで、橋梁の健全性の維持向上を図ります。

③安心で快適な住環境の確保



住宅の長寿命化や分譲マンションの維持管理の支援を進め、長期に渡り使い続けられる住まいの「質」の確保を推進します。また、民間賃貸住宅への入居が制限されがちな住宅確保要配慮者に寄り添い、民間賃貸住宅への入居が円滑にできるよう、住宅確保に向けた支援を推進します。

基本目標 4

● 施策4-8 「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

意見	対応
<p>基本構想のアンケートにおいて、こどもから公園に関する記述が多かった。公園は基本構想・基本計画の目玉になっているため、こどもと公園を結び付けた指標があった方がよい。</p> <p>また、事業レベルになってくるが、こどもの意見を反映して公園を作っていくなど、基本構想で目玉だった「こども×公園」という点がきちんと基本計画でも反映されていると言える。とよい。</p>	<p>こども×公園という点について、めざす姿や施策の方向性に既に記載されている内容に加え、<u>主要事業の進捗・成果報告をこどもと公園を紐づける指標を用いて行うことを検討</u></p>